

令和7年度 なぎさ保育園 事業報告

なぎさ保育園の運営について（令和8年3月31日付け）

児童数	108名	0歳児	9名
		1歳児	18名
		2歳児	18名
		3歳児	19名
		4歳児	22名
		5歳児	22名

職員数	33名	園長	1名
		主任保育士	1名
		保育士	14名
		パート保育士	10名
		保育補助(無資格者)	2名
		栄養士	2名
		調理員	2名
		園内清掃・整備	1名

嘱託医	2名	内科医	1名
		歯科医	1名

顧問弁護士 1名

1. 保育のねらいと反省

イ) 事業計画の保育目標に示された事柄について、各年齢別に応じて保育内容を定め、子どもの主体性、個別の活動、生活及び保育環境などに配慮して保育に当たりました。児童は、日々において生き生きとした活動が展開されたと思います。

ロ) 日々の保育経過や結果を記録し、保育のねらいがどのように進められたかを反省、評価し、次の年度への手がかりとしたいと思います。

ハ) 保育時間

<標準時間認定>	早朝保育時間	7:00～ 8:30
	通常保育時間	8:30～18:00
	延長保育時間	18:00～19:00
<短時間認定>	通常保育時間	8:30～16:30
	延長保育時間	7:00～8:30、16:30～19:00

2. 主な園の行事

個人面談・保育参加・夏祭り・遠足(4、5オクラス)・スポーツフェスティバル(運動会)・生活発表会・卒園式・体育遊び教室(幼児クラス、毎週月曜日)・リズム遊び教室(幼児クラス、毎月1回)

各月 避難訓練・交通安全指導・防犯訓練・身体測定

3. 保育園の取り組み

イ) 人材育成

・研修

(職員の資質向上を図るため積極的に学びの場を設けた。)

園外研修 7 回、園内研修 17 回、オンライン研修 19 回(キャリアアップ研修含む)、施設見学 2 回(和光保育園、RISSHO KID'S きらり相模大野)

ロ) 子どもの遊びを大切にした(主体的・対話的で深い学びを大切にした)保育、コーナー保育、緩やかな育児担当制保育の推進

(保育所保育指針に準じた保育内容への見直しを推進。)

ハ) 保育ドキュメンテーション、ポートフォリオの推進

(遊びや生活を通して子どもたちが主体的・対話的に学ぶ保育の推進と、写真や文章(エピソード)を使って豊かな学びや経験をしている子どもたちの様子を保護者に継続的に伝える情報発信の推進。)

二) 子どもへの関わり方(不適切保育の防止)

(職員会議等で園規則、虐待防止のための体制整備について職員に周知しました。子どもの心を尊重しながら保育者の気持ちを伝えるとともに保護者との信頼関係も築きながら日々の保育にあたることが大切であることを話し合い、職員と共有しました。また、不適切保育防止のための研修を職員に受講する機会を設けました。)

ホ) 職員面談を年 2 回実施

(園長は 4、5 か月に 1 回程度、各職員と面談・ヒアリングを行い、子どもへの関わり方、仕事の進め方等で困ったことや、気になる事、職場の人間関係の悩みなどがないか、積極的に職員とコミュニケーションを取ることに努めました。拾い上げた内容をマネージメント職員と共有し、様々な問題に対応を図りました。)

ヘ) 福祉サービス利用者意向調査キットの活用

(昨年に続き、県社協による利用者アンケートを実施しました。アンケートにより集めた内容から保育園の強みや弱みを把握し、今後の改善に繋げていく。)

ト) 保育園の ICT 化の推進

(保育園向け ICT サービス「コドモン」を導入。保育業務の省力化と保育の質向上に向けて、まずは児童の登降園の管理や保護者連絡などから活用を図る。)

チ) 職員採用・退職

(就職相談会や、実習生の受け入れなど採用活動に繋がる取り組みを積極的に行い、正規保育士 2 名、正規栄養士 1 名を採用し次年度につなげることができました。残念ながら正規保育士 1 名が年度末をもって退職となりました。)

4. 健康診断

嘱託医による園児の定期内科検診を2回（5/14、11/26）実施。

嘱託医による園児の定期歯科検診を2回（6/19、12/11）実施。

検査結果を記録。

5. 保育環境及び施設整備

・購入

食器、スプーン、玩具、絵本、マット、軽量ベット、豆自動車、天ぷら鍋、IHクッキングヒーター、（調理室用）サーキュレーター2台、二層式洗濯機、保育図書、保育月刊誌、デジカメ4台、パソコン2台、園庭遊具 等

・工事、修理、メンテナンス

グリスストラップ洗浄、コンセント修理、トイレ手洗い取替工事、便座設置修繕、2輪スクーター修理、避難者ブレーキ修理、スチコン修理、ガラス修理 等

6. 地域育児センター

イ) 園庭開放

今年度は職員不足のため園庭開放を中止。

ロ) 実習生受け入れ

実習は保育者養成のための重要な場と捉え、できるだけ受け入れを行いました。また、日本保育協会主催のふれあい体験、茅ヶ崎市社協のユースボランティアにも保育園として参加し、参加者に保育園の役割や保育者の仕事の面白さ、魅力について理解を深めていただきました。

実習生5名

短期大学 1名（6月2日～6月13日）

専門学校 2名（6月9日～6月20日）

専門学校 1名（10月14日～10月27日）

大学 1名（2月16日～3月4日）

ふれあい体験 6名

ユースボランティア 6名

7. 一時保育事業

イ) 非定型的保育サービス 51件

ロ) 緊急保育サービス 5件

ハ) 私的理由による保育サービス 181件

8. 苦情処理

苦情や要望は特にありませんでした。

令和 7 年度 なぎさ第二保育園事業報告書

なぎさ第二保育園運営について

(令和 7 年度 12 か月)

なぎさ第二保育園

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
1 歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2 歳	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14
3 歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21
4 歳	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21
5 歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

渚ピクニック (分園)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1 歳	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2 歳	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

1. 保育のねらいと反省

イ) 子供たちの体づくり：園庭整備に、より子供たちの遊びの広がりを感じることができた。

園庭遊具「ひこうき雲」などで、遊具としての体づくり、空間としてのおやつを食べたり、紙芝居を読んだり、紙飛行機を飛ばしてみたりと、年々遊具の使い方が向上している。園庭の安全と子供たちの遊びの拡張をしてゆく。

ロ) 異年齢の連携：散歩や異年齢交流も盛んにしていますが、今年度は、乳児と幼児の異年齢交流だけではなく、異年齢での収穫体験や、虫探しなどが多く実践できた。畑（なぎさファーム）において、園庭にいる異年齢グループで収穫体験をして調理室に持って行き給食で提供してもらった。

ハ) 子供たちの興味や関心の促進：動物の飼育を通じて子供たちの自然に対する気づきに触れることができた。年度末に園庭に築山とビオトープを設置しヤゴやオタマジャクシといった生き物が園庭に生息できる環境を整え、虫探しやカエル探し体験を通じて子供たちの喜怒哀楽に触れることができた。

- ニ) 子供たちの食への興味と感謝：ヤギの糞や鶏の糞、コンポストの腐葉土を使い畑の野菜（トマト、ナス、しし唐、きゅうり、枝豆、青シソ、ゴウヤ）がたくさん収穫できた。シソの葉のふりかけや、きゅうりの浅漬けなど、子供たちがおいしそうに食べていた。収穫した野菜を使いピザのクッキングをしたり、森永乳業（株）様の協力のもと、バターづくりを体験して、給食のパンにつけて食べた。

2. 保育園の取り組み

- イ) 保育 ICT 化の選定を行い、令和 7 年 4 月より保育 ICT 化により、登校園、保育書類、一斉送信、料金引き落としを開始し、ペーパーレス化に取り組み、ドキュメンテーションやショート動画などを配信し子供たちの様子を保護者と共有した。

- ロ) 実習として洗足短期大学、聖ヶ丘保育専門学校の受け入れをし、学生保育ボランティアの受け入れや、職業体験で北陽中学校や浜須賀中学校の学生を受け入れした。

卒園児の高校生ボランティアの受け入れを一週間受け入れしたことにより、子どもたちのつながりと、保育としての充実を感じることができた。

3. 主な園の行事

新入園歓迎会 花祭り 遠足 七夕祭り 夏祭り会
引取訓練 運動会 防火大会 芋ほり
クリスマス会 どんと焼き お別れ会
誕生会 まめまき 卒園式 避難訓練 交通安全指導 防犯訓練

4. 施設の運営

保育時間	短時間保育時間	8 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
	短時間保育延長時間	7 : 0 0 ~ 8 : 3 0
		1 6 : 3 0 ~ 1 9 : 0 0
	標準保育時間	7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0
	延長保育時間	1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0

健康診断

嘱託医による定期内科健診 5 月、10 月の年 2 回、歯科健診 5 月、11 月の年 2 回は実施することができました。引き続き子供たちの健康促進につなげてゆく。

5・職員の移動

〈退職〉4名

令和8年3月31日	正規保育士	丹野
令和8年3月31日	正規保育士	川古谷
令和8年3月31日	正規保育士	鈴木
令和8年3月31日	正規保育士	田中

4. 保育環境及び施設整備

イ) なぎさ第二保育園 園舎建物修繕工事

園舎の屋上防水、外壁タイル、窓枠などの確認、修繕工事を行うことで安心安全な保育環境を維持した

5. 地域育児センター機能強化事業

イ) 園庭開放事業

入園のため園見学の受け入れ年間50組があり、見学の際に育児相談等の流れから一時預かりの登録につながる家庭がある。また、子育て支援棟で計画的にワークショップや育児相談事業を行っている

ロ) 保育士養成校実習受け入れ事業

保育士実習の学生にワークショップやこどものとも社（絵本の読み聞かせ研修）などを取り入れ、保育の楽しさや実習の質の向上に努めることができた。

6. 地域社会に開かれた事業運営

イ) 地域交流について

小学校見学や小学校の運動会の練習風景を見学させてもらい、子供たちが小学校を身近に感じてもらう機会を設けた。中学生の職業体験の受け入れをして中学生との交流にも力を入れた。保幼小の連携により地域の小学校と情報交流や引継ぎを円滑に行った。

市内パン屋の移動販売を園内で行うことで、市内業者と利用者をつなぎ、子供たちへのパンへの興味にもつながった。

7. 一時預かり事業（登録者数6名）

イ) 勤務形態保育サービス利用	0件
ロ) 緊急保育サービス利用	0件
ハ) 私的理由による保育サービス利用	8件

8. 苦情処理

特に苦情はありませんでした。